

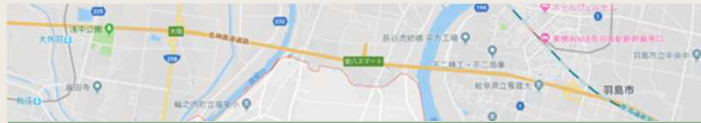
デジタルアーカイブ化による 地域研究資源の活性化

輪中に関する地域資料のデジタルアーカイブ化



岐阜県安八郡輪之内町

木曽川・長良川・揖斐川の木曽三川合流地域
標高ゼロメートル地帯



<治水対策>

江戸時代 江戸幕府が薩摩藩に命じて行わせた宝暦治水

明治時代 オランダ人技師ヨハネス・イ・デレーケを招いて行われた
木曽三川分流工事

輪中

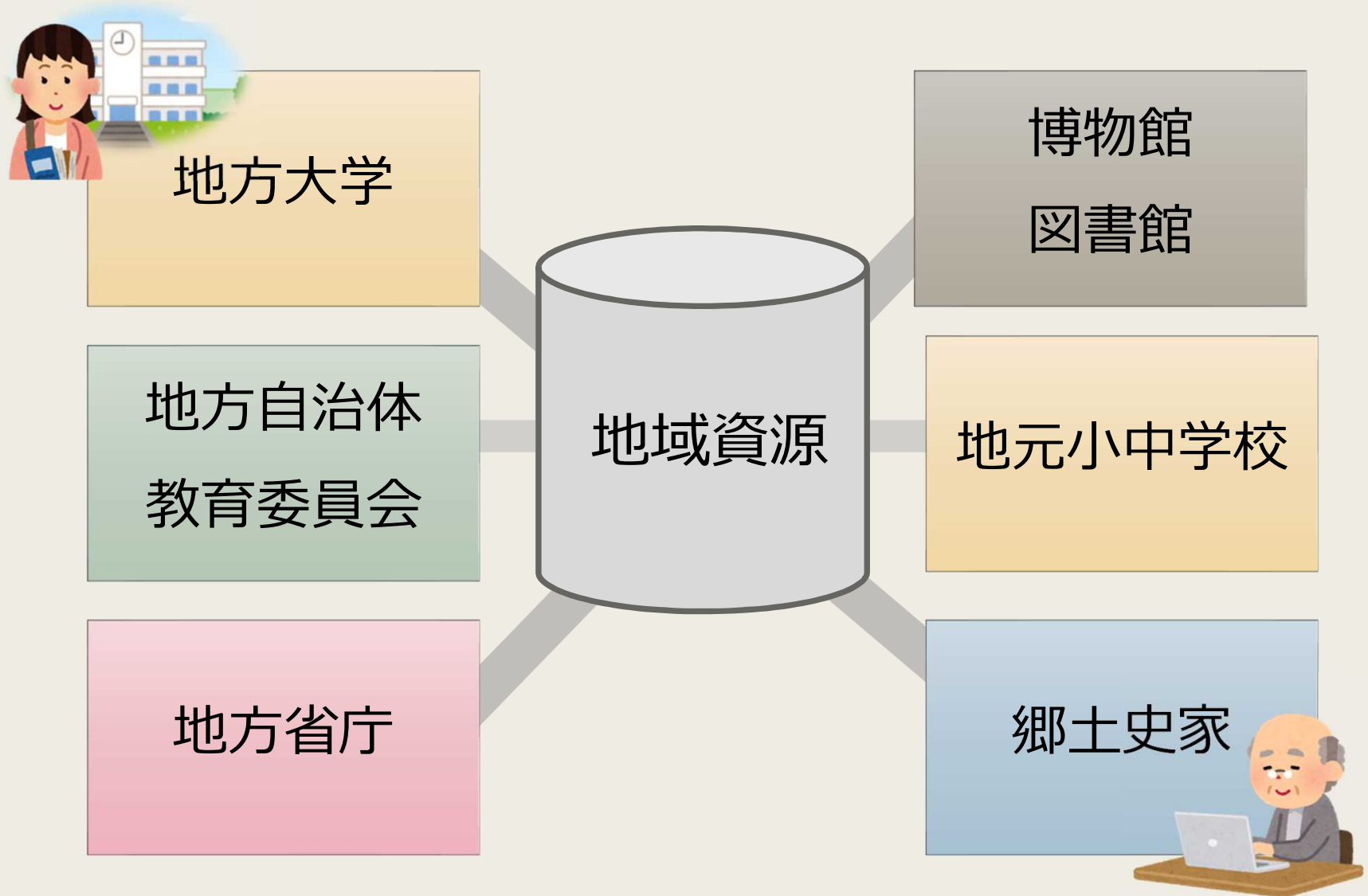
生活集落を洪水から守るため、周囲を堤防で囲んでいる農業集落



治水研究

- 岐阜県では岐阜県歴史博物館や揖斐川町歴史民俗資料館などに保管されている。
- 名古屋大学附属図書館で所有される「高木家文書」を中心とした大規模な古文書のデジタルアーカイブ化が行われている。
- 岐阜大学教育学部や輪之内町商工会、国土交通省 中部地方整備局、岐阜女子大学など多くの収集の事例がある。
- 昔から地域の歴史研究者に大変人気のあるテーマである。

地域資源の収集の担い手



特徴と問題点

地方大学



- 知識が足りない
- コーディネーターがいる
- 最新機材が使える
- 現資料に触れる機会が少ない
- 実践の機会が少ない
- 地域への関心が低い
- コミュニティが閉鎖的

郷土史家



- 知識が豊富
- 郷土愛が強い
- 高齢の方が多い
- IT技術が低い
- コミュニティが閉鎖的

デジタルアーキビスト養成を行っている
地方大学としてのデジタルアーカイブ化活動
ドローンを用いた空撮



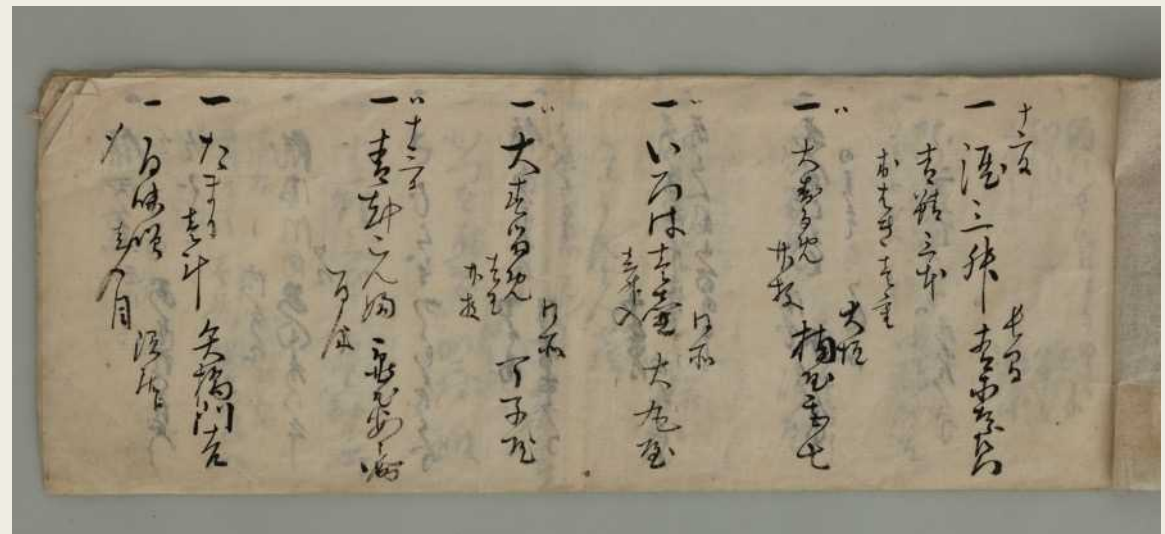
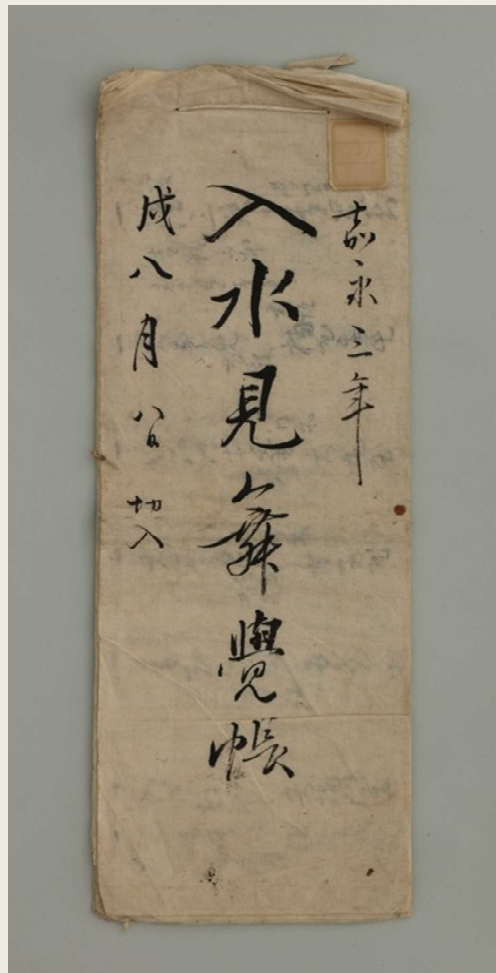
郷土史家の私設の民俗博物館 片野記念館 所蔵資料のデジタル化

- 片野万右衛門氏
明治の木曾三川改修工事の治水共同社の初代取締役
- 片野温氏
大正時代より活躍された高名な郷土史家
- 片野知二氏
昭和46年に片野記念館を開設



安政期に土盛りされた
石積みの助命壇

江戸時代末期から明治初期に 書かれた入水見舞覚帳



片野温氏が宝暦治水について 研究され影写された絵図



学生による撮影



考察

地方大学



- 現資料にふれ、実践する機会を得ることにより、学生の学びへのモチベーションが高まった。
- 大学の地域貢献への足がかりとなる。

郷土史家



- 地域研究の分野でも研究者の高齢化が進んでいる。その整理の状態から、集められた貴重な資料や研究成果を引き継いでいくことが難しい状態にある。
- 原本資料の経年劣化への対応
- 私的な研究成果のデジタルアーカイブ化